

幼児の遊びを発展させていこう

幼児教育において育みたい資質・能力は、何か特定の活動をすれば必ず育まれるというものではありません。一つの活動の中にも一人ひとり異なる学びがありますし、様々な活動を通して一つの学びが深まっていくということもたくさんあります。ここまでの実践事例では、堺市が大切にしたい5つの生活と遊びに視点をおいて、10の遊びを紹介してきましたが、この事例をそのままなぞるのではなく、園の実情や特性に合わせた活動を展開してください。

ここからのページでは、一つの活動から様々な活動へと保育が広がっていく事例や、それぞれの遊びが幼児の発達に伴ってどのように変化していくかをまとめたものを載せています。

幼児の遊びは、一つの活動の中で様々な広がり、深まっていきます。教師の言葉は、幼児を取り巻く環境の中でもとても大きな意味をもつものです。適切なタイミングで適切な言葉を伝えることが、幼児にとって学びを深めるきっかけになります。

教師が対話を通して幼児の学びを豊かにしていくためには、幼児の育ちへの見通しをもってタイミングを待つことが大切です。遊びの発展を見通すことは、幼児のつぶやきや動きを見逃さず、的確な対話や環境設定をすることにつながります。13ページのweb図と合わせて、今、目の前の幼児の遊びがどのように広がる可能性があるかを考える参考にしてください。

幼児教育において育みたい資質・能力は、遊びをとおしての総合的な指導を通じて育成されるべきものです。次ページからは、それぞれの遊びの中で、どのような資質・能力が育まれると思われるかを記しています。同じような活動の展開しても、園や幼児の状況によって、育まれる資質・能力は異なる場合もあります。

知識及び技能の基礎

遊びや生活の中で、豊かな体験を通して、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか

<キーワード>

気付く、できるようになる

思考力・判断力・表現力等の基礎

遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなども使いながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか

<キーワード>

試す、工夫する

学びに向かう力・人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか。

<キーワード>

ねばり強く取り組む

挑戦する